

地区別防災カルテ 1. 西部地区

地区名：西部地区

地区番号：1

平成24年度作成

○地区の構成

佐津間の一部
栗野の一部
初富の一部
北初富
串崎新田
くぬぎ山1丁目～5丁目

○地区の概要

(位置)西部地区は、市の北西部に位置し、松戸市に隣接する。
(地形)地区の大部分がローム台地であり、一級河川大津川が流れる。
(土地利用)地区内の土地利用は、くぬぎ山、北初富の各駅を中心とする市街地と梨畑や野菜を中心とする農地等及び陸上自衛隊松戸駐屯地に大別される。
(交通)幹線道路として千葉ニュータウン方面と東京地方を結ぶ国道464号がくぬぎ山、初富、北初富地区を通過し、通過交通を処理するとともに各地区における中心的な道路となっている。
鉄道はくぬぎ山、北初富、新鎌ヶ谷の各駅が利用圏である。

○地区の位置図



○社会条件

0～14歳	1,281 人	14.4% (対地区)	65歳以上 0～14歳 15～64歳
15～64歳	5,823 人	65.7% (対地区)	
65歳以上	1,769 人	19.9% (対地区)	
人口(合計)	8,873 人	8.2% (対全市)	棟
人口密度	2,862 人/km²		
世帯数	3,848 世帯	8.5% (対全市)	
建物棟数			
木造	昭和36年以前	66 棟	2.6% (対地区)
	昭和37～56年	844 棟	33.8% (対地区)
	昭和57年以後	1,127 棟	45.3% (対地区)
非木造	昭和45年以前	17 棟	0.7% (対地区)
	昭和46～55年	115 棟	4.6% (対地区)
	昭和56年以後	325 棟	13.0% (対地区)
建物(合計)			
		2,494 棟	7.6% (対全市)

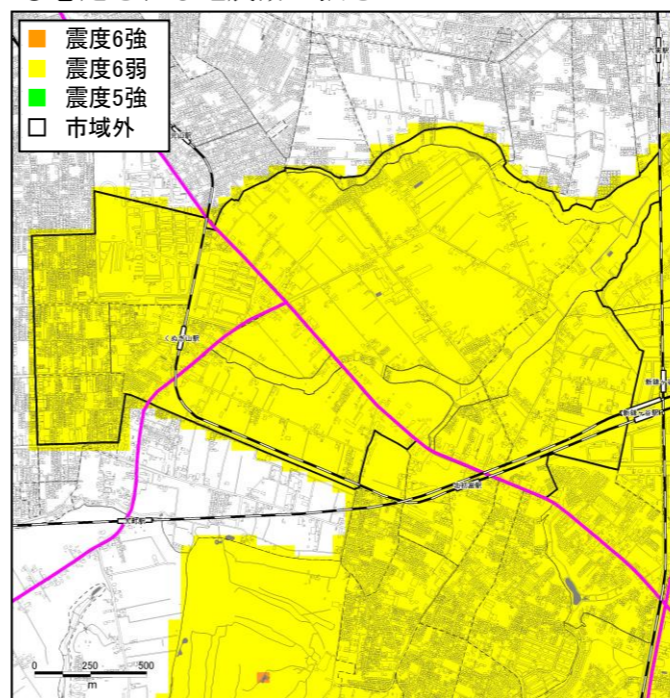
○防災関連施設

避難場所	屋外収容人数	広域避難場所	屋外収容人数	高齢者福祉施設
陸上自衛隊松戸駐屯地	9,750 人	鎌ヶ谷西高等学校	10,036 人	デイサービスだんらんの家鎌ヶ谷(通)、ケアハウス梨花苑(居)、シルバーケア鎌ヶ谷在宅介護支援センター(居)、ハッピーライフ菜の花館(介)、グループホームはつとみ(グ)
全国信用金庫研修所	6,350 人			(介):介護付老人ホーム、(通):通所介護、(居):居宅介護、(グ):グループホーム、(特):特別養護老人ホーム、(訪):訪問介護、(サ):サービス付高齢者向け住宅、(有):有料老人ホーム、(リ):通所リハビリ、(共):共同生活介護
西部小学校	2,857 人	(※下線は臨時ヘリポート設置予定地)		
第三中学校	7,752 人			
耐震性貯水槽・防災倉庫				(介):介護付老人ホーム、(通):通所介護、(居):居宅介護、(グ):グループホーム、(特):特別養護老人ホーム、(訪):訪問介護、(サ):サービス付高齢者向け住宅、(有):有料老人ホーム、(リ):通所リハビリ、(共):共同生活介護
第三中学校(貯水槽)				
消防署	くぬぎ山消防署			
消防団施設	第5分団			障害者福祉施設
警察署・交番・駐在所	くぬぎ山交番			
病院(医科)	初富保健病院、くぬぎ山内科医院、屋比久ペインクリニック整形外科、笠井内科			児童ホーム
保育園・幼稚園	くぬぎやま保育園			鉄道(駅名)
学校	西部小学校、第三中学校、鎌ヶ谷西高等学校			新京成電鉄(くぬぎ山駅)
				指定公共機関等

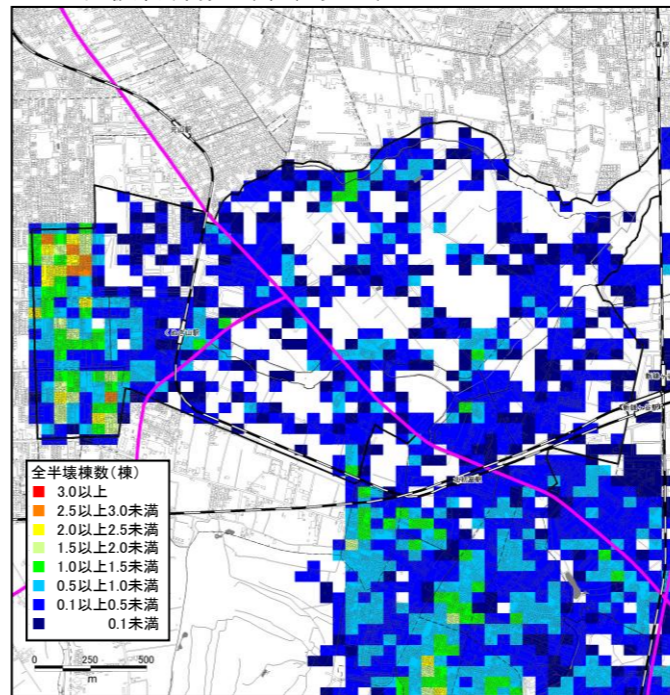
○近年の災害履歴(平成20年～24年)

水害	平成20年4月8日大雨(道路冠水4件、道路封鎖1件)、平成20年5月20日台風4号(道路冠水1件、道路封鎖1件)、平成20年8月30日大雨(床上浸水7戸、道路冠水5件)、平成21年8月10日大雨(道路冠水1件、道路封鎖2件)、平成21年10月5～8日大雨・台風18号(道路冠水2件、道路封鎖2件)、平成22年9月8日台風9号(床上浸水2戸、道路冠水7件、道路封鎖3件)、平成22年9月13日大雨・洪水(道路冠水2件)、平成22年12月3日大雨・洪水(道路冠水4件、道路封鎖1件)、平成24年6月19日台風4号(道路冠水4件、道路封鎖3件)
土砂災害	

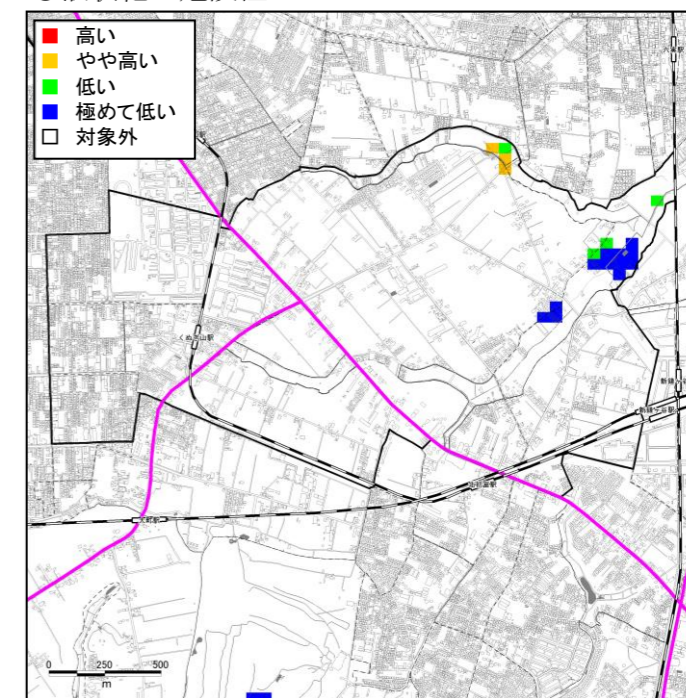
○災害予測の結果(図)
<鎌ヶ谷市直下地震(Mw7.3)の場合>
●想定される地震動の強さ



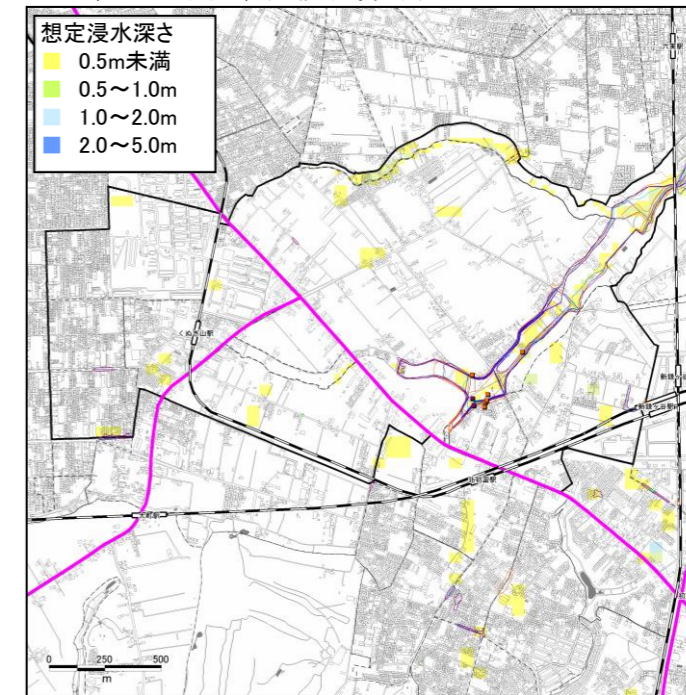
<鎌ヶ谷市直下地震(Mw7.3)の場合>
●建物被害棟数(半壊以上)



●液状化の危険性



<水害・土砂災害の場合>
●水害・土砂災害危険性分布図



○災害予測の結果(概要)

項目	主な予測結果	危険度評価 →高い	概要
地震の揺れの強さ	平均震度6弱		強い揺れが予測されている。
液状化の危険性	低い		地区全体では低いですが、河川沿いの一部でやや高い。
建物被害	全半壊率9.6%		木造建物中心に被害が予測される。
延焼(冬18時)	建物焼失割合0.5%		延焼がやや広がることが予測される。
人的被害(冬18時)	死傷者予測数40人		主に建物被害による負傷者が予測される。
水害の危険性	他の地区と比較してやや高い		河川沿いを中心に浸水や道路冠水の事例が数多くある。
土砂災害の危険性	低い		土砂災害危険箇所は存在しない。